【部課名： 都市政策部　建築住宅課　　】

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
空家等対策事業	住みやすさと優しさを次世代へ引き継ぐまちをめざし、空家等の適正管理に向けた指導に努める。	指標：特定あき家等の所有者への指導等によって、改善した件数（累計） 総計の現状値：78件 R7実績値：117件	空家所有者に対し、適正管理を促す文書や現地調査による現状写真等を送付することにより、管理の改善や適正管理の意識を高めることができた。	相続等により所有者の分散化や遠隔化が進行しており、問題のある空家に対する管理意識が希薄化する傾向にある。各所有者に物件の現状を伝えるとともに、管理者としての責任を認識していただくため、内容に工夫を加えながら、今後も適正管理啓発文書の送付を継続する。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち
個別目標の方向性	住宅の耐震化の向上を目指すとともにあき家における維持管理の指導や活用の支援を行います

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	248	(248)
R7決算見込額	11	(11)
R8予算額	2,852	(2,852)

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
市営住宅維持管理事業	住宅に困窮する低所得者に対し低廉な家賃で賃貸する。 市営住宅の補修等による適正な維持管理を目的とする。	指標：住宅の耐震化率 総計の現状値：88% R7実績値：88%	定期的な維持管理・点検及び修繕等の実施により、住宅の環境維持が図られた。 また、河原町市営住宅のガス給湯器取替工事と虫取市営住宅等の水道メーター取替工事の実施を行った。	市営住宅は昭和40年代に建設されたものが多く劣化が著しいため、建物や設備に係る維持管理費用の確保が課題である。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち
個別目標の方向性	住宅の耐震化の向上を目指すとともにあき家における維持管理の指導や活用の支援を行います

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	16,846	(16,846)
R7決算見込額	28,369	(28,369)
R8予算額	12,635	(12,635)

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
市営住宅施設整備事業	住みやすさと優しさを次世代へ引き継ぐまちをめざし、老朽化した市営住宅を計画的に建替え、住環境の向上を図ることを目的とする。	指標：住宅の耐震化率 総計の現状値：88% R7実績値：88%	老朽化した市営住宅の補修工事を実施することで、住環境の改善ができた。	泉大津市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な市営住宅の建替や修繕、改善を実施していくための事業費確保が課題である。また老朽化が著しい空き家となっている一般住宅については、解体等の取り組みを進める必要がある。 ・河原町・春日町一般住宅解体工事に向け、設計業務委託を実施（R８年度）

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち
個別目標の方向性	住宅の耐震化の向上を目指すとともにあき家における維持管理の指導や活用の支援を行います

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	24,865	(18,699)
R7決算見込額	957	(957)
R8予算額	7,790	(7,790)

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
民間住宅耐震促進事業	耐震化促進施策として、民間木造住宅の耐震診断・設計・改修に要する費用の一部を補助することにより住宅の地震に対する安全性の向上を図り、また空き家の解体に要する費用の一部を補助することにより、防犯や住環境の改善を図ることを目的とする。	指標：住宅の耐震化率 総計の現状値：88% R7実績値：88%	旧耐震基準で建築された木造住宅の所有者が実施する、耐震診断、耐震設計、耐震改修、空き家の解体にかかる費用の一部の補助を行った。 （R7年度実績） 診断・・・３件 設計・・・２件 改修・・・３件 空き家除却・・・８件	建築物の耐震改修の促進に関する法律の趣旨にかんがみ、本市に存する対象となる建築物（住宅）について、耐震化促進の取組みを継続して実施するため、事業費の確保が課題である。 ・耐震改修促進計画策定業務委託 （令和８年度）

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち
個別目標の方向性	住宅の耐震化の向上を目指すとともにあき家における維持管理の指導や活用の支援を行います

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	6,047	(2,802)
R7決算見込額	4,563	(1,829)
R8予算額	19,862	(14,387)

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
二田・寿市営住宅整備事業	子育て世帯から高齢者世帯まで誰もが安全・安心に暮らせる住環境を整えるため、老朽化した二田市営住宅と寿市営住宅の集約建替事業を目的とする。	指標：住宅の耐震化率 総計の現状値：88% R7実績値：88%	二田市営住宅の入居者の移転を円滑に進めたことで、当初の計画通り既存二田市営住宅の解体工事に着手することができた。	昨今の社会情勢の影響により、建築資材等の調達および事業費の確保が課題である。 令和８年度には、（新）二田市営住宅の本体工事着手、及び現在空き家となっている寿市営住宅の一部解体工事を予定。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち
個別目標	市街地が整備され心地よい暮らしができるまち
個別目標の方向性	住宅の耐震化の向上を目指すとともにあき家における維持管理の指導や活用の支援を行います

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	0	0
R7決算見込額	3,211	(3,211)
R8予算額	580,678	(326,631)